

今だから、伝えられる事がある  
おめでとう・ありがとう  
の手紙

やまぐちともこ  
山口知子さん

やまぐちあすか  
山口明日香さん

# 娘から母へ

私にとって、お母さんは「絶対に守るべき存在」です。そこにはさまざまなきが詰まっています。

私は幼い頃からお母さんが大好きでした。仕事の関係で夜遅く帰ることが多かったお母さん。私はいつもお母さんが帰宅するのを待っていました。「ただいま」の笑顔。あのとときの喜びは、今でも忘れません。

中学生になり、やはり私にも訪れた反抗期。何も無いのにイライラし、お母さんによく当たっていました。娘から言われるのは相当辛かったと思います。

一度、「お母さんなんかいなくてもいいから！」と強く言ったことがありました。さすがにそのときのお母さんは、涙していましたね。あんなこと言っただけ、私はお母さんがいないと駄目だったよ。ごめんね。

高校2年生の冬。いつも通り、車で駅まで迎えに来てくれたお母さん。疲れているからか、眠っていました。少し休んでもらおうと思い、私は助手席で待っていると、しばらくしてお母さんの容態が急変。とても苦しそうにしているお母さんに反射的に声をかけ、

近くのタクシー乗り場に行き、理由を話して、お母さんを病院まで送ってもらいました。診察の結果、大きな病気ではなく、ほっとしました。「ありがとうね」と落ち着いたころにかけてくれた、お母さんの言葉。安心感で涙が溢れてきました。私はそのときに「お母さんを守っていこう」と強く決心しました。

「今までお世話になった人たちに恩返ししたい」これを大きな目標に掲げ、私は今「教師」になることを目指して、大学で日々勉強に励んでいます。

なかなか実家に帰ることはできない分、こまめに連絡をとり、お母さんの声を聞いて安心しています。

二十歳になった今、20年間一番身近にいて、支えてくれたお母さんに感謝の気持ちを伝えたいと思います。お母さん。私を産んでくれてありがとう。

支えてくれてありがとう。これからは私が支えていくからね。絶対に守っていくからね。今までありがとうございました。そして、これからもよろしくお願います。

今日、ここで成人の日を迎えた事を心からお祝います。

あなたは、小さい頃から、自分で考え、自分で物事を進める、しっかり者でした。母は、あなたの頑張りや笑顔に、いつも勇気付けられ、助けられていました。

いつも頑張っていたあなただったのに、あなたの気持ちに気付かず、過ごしていた時期がありました。中学校の時だったかなあ、あなたのきつい言葉に驚き、思わず涙しました。あなたに甘えすぎている母でした。ごめんね。そして、高校3年間もあつという間に過ぎ、地元を離れ大学へ進学。

進学後、アルバイトやボランティア活動に積極的に参加しているようで、夏休み・冬休みもゆくり地元で過ごす時間はないですね。

今は、あなたがいない生活に少し慣れましたが、入学当初は、心配で、電話やメールで連絡する日々でした。そんな母を気遣い、「そんなに心配せんといてね」「ちゃんと自炊しているよ」と、朝食や夕食を写メで送ってきては、安心させてくれましたね。ありがとう。おかげで、寂しさを紛らわせてくれたところ、大学一年目が終わりに近

づいた頃、突然、「胸の下から脇腹一带に、尋常じゃない痛みが・・・」とあなたからの電話。

翌日、病院で受診した結果、帯状疱疹だったね。遠いとあなたの元へ、すぐにかけてつけられないもどかしさや、ようやく環境に慣れ、忙しい日々を過ごしているあなたの姿を思うと、涙が出ました。

大学二年目。あなたの明るさや前向きな姿勢、苦しい時も笑顔で乗り越えるパワーを持って、学校生活を過ごしていると、温かい報告の手紙が学校から届きました。それと一緒に、学校行事で演じた元気なタヌキ役の写真も同封されており、頑張っているあなたを身近に感じ、それとともに、あなたをかわいがってくれている学校の姿勢に感謝しています。

離れての生活ですが、健康には充分気を付けて、目標に向かって歩んでください。

目標の道を見失う事もあるかもしれませんが、でも、歩み続けることで、きっと、あなたに合った道が開けます。いつまでもあなたの無事を祈り、いつまでもあなたを応援し、いつまでもあなたの味方です。

成人、おめでとう。

# 母から娘へ